

土地改良の

基盤整備や統合を

町長

円滑に協議し支援する

現在の農業経営は、担い手や営農組合に委託している現状で、少子高齢化に向けて土地改良の大規模な整備や統合化が不可欠であると考えられる。

問 当町の整備計画の現状と行政の対応は。

答 大型圃場整備要望が3件（大巻・室原・大野）あり、協議会も設立されている地区もある。また改良区の統合は町内を4グループに分け、合併推進協議会にて統合に向けた協議が円滑に推進するよう支援し、協議会未設置地区では、統合の意義やメリットについて理解が得られるよう支援していく。



◆大橋 三男 議員



大区画整備（有尾地内）

問 圃場の流末である排水機も老朽化が見られるが、補強や統合の考えは。

答 排水条件が同一で立地状況を踏まえ、統合した場合と、単独更新との技術検討の結果を考慮した上で、整備方針を取りまとめていく。

ふるさと納税返礼の再考を

町長

サービス返礼を前向きに検討

問 当町の、ふるさと納税の実績状況は。また、種類と品でない返礼は。

答 平成29年度の実績は5327件、1億933万円である。当町の返礼品については62品で圧倒的に飛騨牛が多く、次いで富有柿、豚肉であった。品物でない返礼は宿泊券等、現在4品である。

問 サービス提供の返礼として、都会に出て相続者のいない家や、高齢で施設に余儀なくされている状況下で、空き家や家周りの管理が放置されている家庭に、除草やお墓の清掃、花生け等の管理を返礼とすることは可能か。シルバー人材センター等に依頼すれば高齢者の人材活用にも貢献できると思われるが。

答 宿泊券などの個人が受けるサービスは、当町にきていただけないという事で二次的効果が期待でき、今後も様々な分野で増やしていきたい。また空き家対策とも連携でき、ふるさと納税の趣旨にも沿うものと考えられ、今後検討していく。

レクリエーション協会

設立は

教育長

可能な限り設立を支援

レクリエーション協会は地域のレクリエーション運動の中核を担う組織である。子どもから高齢者まで幅広く、日常的に多種多様なレクリエーション活動を提供し、町民の心身の健康・生きがいづくりに貢献している。

問 県でのレクリエーション種目団体は。

答 ペタンクやグラウンド・ゴルフ、フォークダンスや健康マージャンなど31の種目団体となる。

問 県下の市町村の協会数は。

答 大垣市や海津市、神戸町など、郡単位で不破郡と加茂郡の31団体38市町村となっている。

問 今から準備して設立月日は。

答 県レクリエーション協会は、設立の支援を今年度予定。町のグラウンド・ゴルフ協会等の団体が主体となり協会設立を推進した場合、町としても可能な限り支援していきたい。具体的なスケジュール等については協会との連携を図りながら進めたい。

町民プール周辺の河川敷を公園に

教育長

計画はなく現状では難しい



金草川河川敷

スポーツ施設の充実の本町においても重要な課題である。

問 大垣市には杭瀬川河川敷スポーツ施設、垂井町には相川スポーツ施設、海津市には長良川河川敷スポーツ施設がある。「スポーツマックス養老」付近の金草川の河川敷を利用しては。

答 河川敷を利用したスポーツ公園の建設は、計画位置上位置づけ

がなく、金草川河川敷の樹木の伐採・伐開が進んだ段階で、総合的に判断していきたい。

問 金草川の伐採・伐開の進捗状況は。

答 河川管理者である県へ要望しているが、河川敷内には、民地もあり難しい。

問 本年度スポーツ推進計画の中間計画の見直しがあるが。

答 「スポーツに関するアンケート」調査を無作為抽出により1500名に協力を依頼し、その結果を踏まえて、財政的負担も考慮しながら、今後の施設整備を検討していきたい。